

2010 (平成22) 年度  
東京都中学校美術教育研究会

総会議案書

TOKYO  
ART  
EDUCATION

2010 (平成22) 年5月28日 (金)

於 東京芸術劇場

## 総会式次第

### ■開会の言葉

### ■会長挨拶

### ■祝辞

### ■議長団選出

- ・第1号議案 平成21年度 活動報告に関する件
- ・第2号議案 平成21年度 決算報告に関する件
- ・第3号議案 平成22年度 会則変更に関する件
- ・第4号議案 平成22年度 役員選出に関する件
- ・第5号議案 平成22年度 活動方針に関する件
- ・第6号議案 平成22年度 予算に関する件

### ■議長団の解任

### ■平成22年度 東京都中学校美術教育研究会 第5ブロック（荒川）大会に関して

### ■開会の言葉

## 研修・講演会

「次代を拓く力を育てる美術の学び」～表現の根っこから考える～

・・・・・・・・・・・・・・・・ 講師 大橋 功 氏

特定非営利活動法人 学習開発研究所 副代表

日本美術教育学会 委員 事務局長

色彩教育研究会 理事

## 目 次

平成21年度	東京都中学校美術教育研究会	活動報告
平成21年度		決算報告書
平成22年度		会則改正（案）
平成22年度	東京都中学校美術教育研究会	組織（案）
平成22年度	東京都中学校美術教育研究会	活動方針（案）
平成22年度		年間活動計画（案）
平成22年度		収支予算書（案）

# 平成21年度 東京都中学校美術教育研究会活動報告

月 日	活 動 内 容	
4月 2日	事務局会 21年度活動方針・組織・会則の検討	(中野・第三中)
5月 8日	事務局・専門部部長会 21年度活動方針案・組織案等の確認、総会準備	(中野・第三中)
5月26日	第27回都中美葛飾大会実行委員会	(葛飾・上平井中)
5月29日	総会・研修会 20年度活動報告・決算報告、21年度活動方針・組織・予算計画 講演 「地域との連携」 講師 アートディレクター 北川フラム 氏	(東京芸術劇場)
6月22日	第27回都中美葛飾大会実行委員会	(葛飾・上平井中)
6月21日	都造協理事会 21年度活動、校種間連携・情報交換等	(文京・青柳小)
6月27日	関東甲信越静地区都県代表者会議	(中央・泰明小)
7月29日	美術館研修会 □午前 「鑑賞・ギャラリートーク」 □午後 「作品の素材・テーマを活かした授業案の作成」 講師 都立現代美術館 武内厚子 学芸員 都立現代美術館 郷 泰典 学芸員	(現代美術館)
8月24日	都中美夏季研修会(東京都教職員研修センター認定団体研修として実施) □午前 鑑賞教育の実践力向上に向けて(工芸分野=作品の鑑賞活動を通して) 講師 国立近代美術館主任研究員 今井 洋子 氏 □午後 鑑賞教育の実践力向上に向けて(工芸分野=実技研修を通して) 講師 「東京金銀器工業共同組合」	(東京国立近代美術館工芸館・千代田・九段中学校)
8月25日	都中美夏季研修会(東京都教職員研修センター認定団体研修として実施) □午前 小中連携に向けて(小中教員による実践報告を中心に) 講師 都図研副会長 目黒区立五本木小学校 鈴木 陽子 氏 □午後 小中連携に向けて (小学校の題材を生かした教材研究―造形遊びを中心に) 講師 都図研研究局長 目黒区立向原小学校 上野 千恵子 氏	(中野ゼロホール)
9月 4日	都造協理事会	(文京・青柳小)
9月30日 ～5日	第51回都中美展覧会 9月29日 搬入・準備 5日 搬出	(池袋画廊)
11月13日	第27回東京都中学校美術教育研究会第6ブロック(葛飾)大会 研究テーマ「メッセージ～色彩・形・言葉～からの発信」(案) 会 場 葛飾区立上平井中学校	(葛飾・上平井中)
11月26日 ～27日	第49回 関東甲信越静地区造形教育研究大会 千葉大会 第62回 全国造形教育研究大会 千葉大会 大会テーマ「きらめく完成・ときめく思い・うみだせアート」	(千葉市)
12月28日	美術館研修会 テーマ 「鑑賞学習の計画を立てる」 講師 国立西洋美術館学芸員 寺島洋子 氏・藁谷裕子 氏・一条彰子 氏	(国立西洋美術館)
2月12日 ～19日	公立学校美術展(都展) 12日 搬入・準備 19日搬出・片付け	(都立美術館)
2月26日	都造協理事会 21年度活動のまとめ、校種間連携・情報交換等	(文京・青柳小)
3月29日	事務局・専門部部長会 21年度活動のまとめ、22年度活動方針・組織の検討	(中野・第三中)

# 平成21年度 決算報告書

# 東京都中学校美術教育研究会 会則

- 第 1 条 本会は東京都中学校美術教育研究会といい、事務局を事務局長在任校に置く。
- 第 2 条 本会は東京都中学校美術教育研究会の研究並びに会員相互の親睦を図ることを目的とする。
- 第 3 条 本会は東京都中学校各地区美術教育研究部を母体とし、中学校美術教育に関係ある教職員を会員として構成する。
- 第 4 条 本会員は役員会を運営の中核とし、第 2 条の目的を達するための専門部を置き、次の事業を行う。その他必要に応じた特別委員会を置くことができる。

## [専門部]

- (1) 教科研究部
- (2) 広報部（書記を兼ねる）
- (3) 行事部

## [事業]

- (1) 美術教育に関する調査研究ならびにその発表
- (2) 協議会、講習会、展覧会、視察、見学、研究事業
- (3) 意見の公表ならびに建議
- (4) 会員相互の親睦
- (5) その他本会の目的達成に必要な事業

- 第 5 条 本会は次の役員をおく。
- ・会長 1 名
  - ・副会長必要数
  - ・事務局長 1 名
  - ・会計 2 名
  - ・専門部に担当副会長をおく
  - ・専門部長各 1 名
  - ・専門部副部長各 1 名以上
- 第 6 条 各区市町村で選出された部長は、都中美本部との連絡・調整にあたる。
- 第 7 条 本会は役員会の推薦により顧問をおくことができる。
- 第 8 条 本会に監査 2 名をおき、一般会員中より総会で選出する。
- 第 9 条 本会は年 1 回年度当初に総会を開く。なお必要あるときは臨時に開くことができる。
- 第 10 条 本会は運営を円滑に行うため、必要に応じて次の会議を開く。
- (1) 役員会
  - (2) 各専門委員会
  - (3) 地区研究部長会
- 第 11 条 本会は、東京都中学校教育研究会よりの会費で運営される。
- 第 12 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌 3 月 31 日で終わる。
- 第 13 条 本会の毎年度予算、決算は総会の決議を経るものとする。
- 附 則
- (1) 本会の会則は総会の決議を経なければ変更することはできない。
  - (2) 本会会則は昭和 22 年 1 月 3 日から実施する。  
平成 20 年 5 月 23 日 改正  
平成 22 年 5 月 28 日 改正

# 平成22年度 東京都中学校美術教育研究会 組織

都中美				
東京都中学校美術教育研究会（都中美）				
会長		大野 雅生	西東京・ひばりが丘中	
副会長	関連団体担当	全造連	永関 和雄 町田・町田三中	
		全中美	正留 久巳 日野・三沢中	
		関プロ	牧井 直文 中野・南中野中	
		中文連	殿村 靖廣 葛飾・上平井中	
	事務局担当		菊田 寛	墨田・吾嬬二中
	教科研究部担当	研究普及	中村 一哉	府中・府中五中
		研究普及	平内 利光	大田・馬込東中
		研究普及	香村 智	品川・富士見台中
		研究普及	安藤 聖子	稲城・稲城二中
		5プロ大会	池田 浩二	中野・第三中
	7プロ大会		篠原やよい	町田・薬師中
	広報部担当	沼田 浩紫		新宿・牛込三中
野崎裕一郎		世田谷・深沢中		
半田 道夫		東大和・五中		
大野 正人		文京・茗台中		
公美展担当		新保 邦明	板橋・桜川中	
名簿作成担当		田中 敬二	杉並・松ノ木中	
会計監査担当		川崎 達也	東村山・第七中	
		林 憲吾	大田・出雲中	
担当会員	事務局	局長	土田 貢司 東久留米・大門中	
		副局長	吉田 諭司 中野・第三中	
		部員	眞城 勝彦	品川・鈴ヶ森中
			上野目浩一	大田・六郷中
			河田あすか	日野・平山中
			平野 康夫	文京・第十中
			矢野 芳幸	江戸川・小岩一中
			宮越 一昭	杉並・東原中
	教科研究部	部長	濱脇みどり	西東京・田無一中
		副部長	佐藤真理子	大田・南六郷中
		部員	木原 美恵	多摩・多摩永山中
			高野 朱未	西東京・保谷中
			高崎美也子	江東・深川四中
			三浦 悦子	足立・青井中
			深見 響子	墨田・文花中
			藤本 卓	北・滝野川紅葉中
			倉科 幸雄	杉並・阿佐ヶ谷中
			猪口 正和	中野・第二中
			安島 典子	狛江・狛江一中
			広報部	部長
	副部長	志手 伸圭		中野・南中野中
	部員	藤井 義法		東久留米・東中
		井ノ口智章		目黒・第八中
		内田 義人		日野・三沢中
松尾 英治		大田・貝塚中		
行事部	部長	井ノ口智章	目黒・第八中	
	副部長	倉科 幸雄	杉並・阿佐ヶ谷中	
	部員	猪口 正和	中野・第二中	
		住岡美智子	足立・第五中	

会計	河本 彩	西東京・ひばりが丘中
	木村 祐子	練馬・開進三中
名簿作成	近藤 幸司	渋谷・代々木中
	曾根 信行	杉並・高井戸中
	上野目浩一	大田・六郷中
	倉科 幸雄	杉並・阿佐ヶ谷中

全国造形教育連盟（全造連）		
委員長	永関 和雄	町田・町田三中
都代表	大野 雅生	西東京・ひばりが丘中
	正留 久巳	日野・三沢中
	牧井 直文	中野・南中野中
事務局	上野目浩一	大田・六郷中
	佐藤真理子	大田・南六郷中

東京都造形教育協議会（都造協）		
理事	大野 雅生	西東京・ひばりが丘中
	牧井 直文	中野・南中野中
	正留 久巳	日野・三沢中
	吉田 諭司	中野・第三中

全国中学校美術教育連盟（全中美）		
理事長	正留 久巳	日野・三沢中
事務局長	菊田 寛	墨田・吾嬬二中
副事務局長	安藤 聖子	稲城・稲城二中
委員	藤本 卓	北・滝野川紅葉中
	安田 宣幸	江戸川・松江四中
	藤嶋 太一	町田・南大谷中

関東甲信越静地区造形教育連合（関プロ）		
理事長	牧井 直文	中野・南中野中
事務局長	平野 康夫	文京・第十中
委員	上野目浩一	大田・六郷中
	眞城 勝彦	品川・鈴ヶ森中
	佐藤真理子	大田・南六郷中
	吉田 諭司	中野・第三中

公立学校美術展（都展）中央委員会（夜間中含まれて5名選出 都教委報告）

運営委員長	新保 邦明	板橋・桜川中
委員	高橋純一郎	府中・浅間中
	伊藤 勇司	世田谷・三宿中
	大出 和広	江東・深川五中
	渡辺 和美	小平・花小金井南中

中学校文化連盟委員（中文連）運営委員		
会員	殿村 靖廣	葛飾・上平井中
	曾根 信行	杉並・高井戸中
	茜谷佳世子	江戸川・小松川二中
	瀬田 宣正	北・明桜中
	藤本 卓	北・滝野川紅葉中
	高崎美也子	江東・深川四中
	深見 響子	墨田・文花中
	藤嶋 太一	町田・南大谷中
	矢野 芳幸	江戸川・小岩一中

東京都中学校教育研究会（都中研）運営委員		
常任理事	大野 雅生	西東京・ひばりが丘中

# 平成22年度 活動方針

## 《 活動目標 》

- (1) 授業及び評価の実践的研究と美術教育の普及をはかる。
- (2) 異校種間連携について研究を進める。
- (3) 全都会員の連携を強め、情報を広く発信し組織的に活動を展開する。

生徒数の減少・学校規模の縮小等が進み、多くの学校では美術の教員が一名となり、非常勤講師のみの学校も増えています。さらに、学習指導要領の改訂に伴い、美術の選択授業が開設されない状況も生まれ、美術教員の配置は厳しい状況を迎えています。こうしたなか、より良い評価やより良い授業を実践するうえで、研修の機会が必要になってきています。このことから、本研究会の役割が今まで以上に重要となっており、活動の活性化が急務であると考えます。しかし、現状では、校務を離れて研究会に参加することが難しくなっており、時間設定や形態の工夫も大きな課題です。

今年度の活動の目標に関しては、昨年度までの取り組みを継続・充実させつつ、東京都中学校美術教育研究会（以後都中美と表記）の活動について、ホームページ等を使って広く発信し、会員相互の情報の共有化を図り、連携を深めていきたいと思えます。また、一般の方々にも都中美の活動への理解を広げていくことが必要であると考え、運営の柱としていきます。

## 【 研究・研修活動について 】

学習指導要領の改訂に基づき、授業及び評価の実践的研究が各地区美術研究部会や各学校において進められてきています。それにともない授業内容の改善・充実が図られてきているものと思えます。

都中美では、生徒たちに「創造することの楽しさを感じさせ、生涯にわたって主体的にかかわっていく力」を育成することを目指して活動を展開しています。今年度の都中美荒川大会では、5ブロック4区58校が一つとなって、荒川区立荒川第三中学校を会場に実施されます。この研究大会が都内の中学校からの発信源となり、これからの美術教育を東京から全国にひろげていきます。

また、研修に関して、教育行政、大学、研究団体より講師を招き、会員のニーズに合わせた研修を行ったり、教育普及研修にも積極的に取り組み、会員の資質向上を目指した研修などを計画していきます。

## 【 異校種との連携について 】

異校種との連携に関しては、本研究会の関連団体である全国造形教育連盟を通じて、他の道府県の美術教育研究団体・東京都図画工作研究会や東京都高校美術工芸研究会の情報の収集と意見交換を続けていきます。また、異校種間連携による研究や意見交換のできる研修会の情報をお知らせしていきます。

## 【 連携と情報を広く発信し、組織的な活動の展開について 】

組織的な活動の展開に関しては、名簿の活用と広報の充実によって対応します。

都中美のホームページの内容も充実が進み、確実に情報等が行き渡るよう取り組んできました。今年度はそれをさらに充実し、より多くの会員の方からの情報（教育実践他）を、都中美のホームページを活用して発信していきます。そして、研究団体としての情報を会員相互に共有できる場としていくよう活発な広報活動を目指します。すなわち全都の美術科の教員が加盟する研究団体として、会員が広く、そして積極的に参加できる組織を目指していきます。

# 平成22年度 東京都中学校美術教育研究会活動計画

月 日	活 動 内 容	
4月22日	都中美 会長・副会長研修会	(中野・第三中)
4月26日	第28回都中美荒川大会実行委員会	(荒川・第三中)
5月10日	都中美 事務局・専門部部長研修会 教科研修、22年度総会準備	(中野・第三中)
5月28日	総会・研修会 21年度活動報告・決算報告、22年度活動方針・組織・予算計画 講演 「次代を拓く力を育てる美術の学び」 —表現の根っこから考える— 講師 特定非営利活動法人 学習開発研究所 副代表 大橋 功 氏	(東京芸術劇場)
5月11日	第28回都中美荒川大会実行委員会	(荒川・第三中)
6月 4日	都造協理事会 22年度活動、校種間連携・情報交換等	(文京・青柳小)
6月12日	関東甲信越静地区都県代表者会議	(中央・泰明小)
7月26日	都中美夏季研修会(東京都教職員研修センター認定団体研修として実施) □午後 工芸技能の実践力向上に向けて(工芸分野=実技研修を通して) 講師 未定	(都立工芸高校)
7月 ・日	都中美夏季研修会(東京都教職員研修センター認定団体研修として実施) □午前 小中連携に向けて 講師 教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課 統括指導主事 岩崎治彦 氏	(教職員研修センター)
7月27日	都中美夏季研修会(東京都教職員研修センター認定団体研修として実施) □午後 工芸技能の実践力向上に向けて(工芸分野=実践研修を通して) 講師 未定	(都立工芸高校)
8月 5日 ～6日	第63回 全国造形教育研究大会 福島大会 大会テーマ 「つくる喜び、みる感動!! 子どもの今と未来をつなぐ造形教育」 —連携を大切にしたいこれからの造形教育を求めて—	(福島テルサ・福島 大学付属小・中・幼)
8月 9日 ～10日	第50回 関東甲信越静地区造形教育研究大会 静岡大会 大会テーマ 「つくりだす喜びを培う造形美術教育」 —「みる」ことの再考をとおして—	(静岡県コンベンシ ョンアーツセンター 「グランシップ」・ 静岡県立美術館)
8月23日	美術館研修会(東京都教職員研修センター認定団体研修として実施) □午前 「鑑賞・ギャラリートーク」 □午後 「鑑賞活動に基づいた教材研究」 講師 未定	(国立近代美術館)
9月 ・日	都造協理事会	(文京・青柳小)
9月 ・日	都中美 会長・副会長研修会	(中野・第三中)
11月 ・日	都中美研修会(東京都教職員研修センター認定団体研修として実施) □午後 小中連携に向けて(小中教員による実践報告を中心に) 講師 未定	(品川区立小学校)
11月1日 ～7日	公立学校美術展(都展) 1日準備 2日搬入 3・4・5・6日会期 7日搬出・片付け	(都立産業技術高等 専門学校)
11月9日	第28回東京都中学校美術教育研究会第5ブロック(荒川)大会 研究テーマ「イメージを形に」—鉛筆から自己表現まで— 会 場 荒川区立第三中学校	(荒川・第三中)
3月 ・日	都中美 会長・副会長研修会	(中野・第三中)
3月 ・日	都中美 事務局・専門部部長研修会 教科研修、22年度活動まとめ、23年 度活動方針・組織の検討	(西東京・ひばりが 丘中)
3月 ・日	都造協理事会 22年度活動のまとめ、校種間連携・情報交換等	(文京・青柳小)



## 平成22年度収支予算書

## 収入

科 目	予 算 額	積 算 内 訳
会 費	808,000	会費
補 助 金	0	
寄 付 金	0	
雑 収 入	0	利息
前 年 度 繰 越 金	336	平成21年度繰越金
そ の 他	0	
合 計	808,336	

## 支出

科 目	予 算 額	積 算 内 訳		
補 助 事 業 に 要 す る 経 費	研究大会及び研修会	諸 謝 金	40,000	研究会等講師謝礼
		旅 費	80,000	全国、関プロ大会派遣旅費
		借 料・損 料	0	
		印 刷 製 本 費	300,000	大会紀要・報告書
		会 議 費	30,000	会場借用料
		消 耗 品 費	20,000	事務用品（用紙・インク等）
		通 信 運 搬 費	20,000	案内発送・事務連絡・物品運搬費
		小 計	490,000	
	研究調査	諸 謝 金	30,000	調査謝金（研究調査講師料）
		旅 費	30,000	調査・取材他（他府県実践取材）
資 料 費		20,000	広報用HPソフト料	
印 刷 製 本 費		0		
貸 金		0		
会 議 費		15,000	プロジェクター・放送機材借用料	
消 耗 品 費		1,000	事務用品	
通 信 運 搬 費		5,000	広報・通信費	
小 計	110,000			
研究用図書購入	図 書 購 入 費	0		
	小 計	0		
研究成果の刊行	印 刷 製 本 費	5,000	印刷費	
	通 信 運 搬 費	15,000	研究報告発送費	
	小 計	20,000		
計	620,000			
その他事業費・事務局費	188,336	関連団体加盟費・名簿作成費・連絡通信費		
合 計	808,336			

平成22年5月28日

# 東京都中学校美術教育研究大会の運営について

1. 東京都中学校美術教育研究大会（以下、研究大会と称する。）は、東京都の中学校における美術教育の充実・発展と美術科教員の指導力の向上を目指して、東京都中学校美術教育研究会が主催し、毎年、実施するものとする。
2. 研究大会の実施にあたっては、東京都の全区市町村を別に定める11の研究ブロックに分け、ブロックごとのローテーションで開催することにより、全都の美術教育の水準の維持と向上を図るようとする。
3. 研究大会の開催ブロックは、原則として1ブロックごととし、区部3ブロックに対して市町村部1ブロックの開催を原則とする。ただし、市部の第8、第9、第10ブロックのみは、3ブロック合同開催とする。
4. 研究大会の実施にあたっては、東京都中学校美術教育研究会会長の依頼により、開催ブロック内の区市町村の協議に基づき実行委員会を組織し、推進することとする。
5. 実行委員会には、原則として、実行委員長、副実行委員長および事務局、研究局、編集局、庶務局を置き、それぞれの局には局長を置いて研究大会を運営する。
6. 実行委員会は、東京都中学校美術教育研究会と連携を図りながら、実行委員長、副実行委員長ならびに事務局長を中心として、研究大会の準備から報告に至るまでの一切を運営、維持する。
7. 研究大会の実施にかかる費用については、東京都中学校美術教育研究会から支出される負担金のほか、開催ブロックの区市町村教育委員会の協力のもと、1校あたり1万円の分担金の拠出を得て運営するものとする。
8. 上記、大会の運営にかかる費用については、研究大会実施後、大会報告書とともに、開催区市町村の教育委員会教育長に報告するものとする。

## 都中美 研究ブロック区分

第1ブロック	千代田（2校）・港（10校）・品川（16校）・大田（28校）	計56校
第2ブロック	新宿（12校）・目黒（10校）・世田谷（31校）・渋谷（8校）	計61校
第3ブロック	中野（12校）・杉並（23校）・練馬（34校）	計69校
第4ブロック	文京（10校）・豊島（8校）・北（14校）・板橋（23校）	計55校
第5ブロック	中央（4校）・台東（7校）・荒川（10校）・足立（37校）	計58校
第6ブロック	墨田（12校）・江東（22校）・葛飾（24校）・江戸川（33校）	計91校
第7ブロック	八王子（37校）・町田（20校）・日野（8校）・多摩（9校）・稲城（6校）	計80校
第8ブロック	武蔵野（6校）・三鷹（7校）・府中（11校）・調布（8校）・狛江（4校）	計36校
第9ブロック	立川（9校）・昭島（6校）・小金井（5校）・小平（8校）・国分寺（5校）・国立（3校）	計36校
第10ブロック	東村山（7校）・西東京（9校）・清瀬（5校）・東久留米（7校）・武蔵村山（5校）・東大和（5校）	計38校
第11ブロック	青梅（11校）・福生（3校）・あきる野（6校）・羽村（3校）・西多摩（7校）	計30校
島 嶼	大島（3校）・利島・新島・式根島・神津・三宅・御蔵島・大賀郷・富士・三原 青ヶ島・小笠原・母島	計15校

## 都中美大会 一覧表

S58/11/18	第1回 品川区 品川総合教育会館	感動をもって創り出す力を高める美術教育
S59/11/20	第2回 府中市 府中市立教育センター	未来を拓く人づくりを目指す美術教育
S60/11/27 ・28	第3回 豊島区 豊島区立千川中学校 関ブ ロ大会と合同大会	素材と創造者たち
S61/10/9	第4回 中野区 中野区立第七中学校	創造意欲をおこさせ表現力をたかめる授業の進め方
S62/10/9	第5回 立川市 立川市立第九中学校	崩壊か、低迷か、創造か
S63/11/25	第6回 新宿区 新宿区立西戸山中学校 新宿区立早稲田小学校 都図研と合同大会	想像の大地をめざして ～伸びる・ふれあう・美術の根～
H1/10/20	第7回 北区 北区立神谷中学校	やる気見つけた！ ～みずからの生き方につながる造形活動をめざして～
H2/11/22	第8回 新宿区 神楽坂エミール	感動が人を創る ～自らをたがやす生徒の育成をめざす美術教育～
H3/10/22	第9回 第5ブロック 荒川大会 荒川区立南千住第二中学校	創るよろこび、生きるよろこび ～今なぜ美術教育か～
H4/10/20	第10回 第6ブロック 江戸川大会 江戸川区立小松川第二中学校	感性が輝くとき ～今、創造の意味を考える～
H5/11/18	第11回 第7ブロック 八王子大会 八王子市立浅川中学校	主体的表現と個性の輝きをもとめて ～心の教育と21世紀へ向けての美術教育～
H6/10/4	第12回 本部大会 東京国立近代美術館・神楽坂エミール	新たな美術教育の展開を求めて ～美術館との連帯と鑑賞教育の可能性～
H7/11/14	第13回 第8・9・10ブロック 北多摩大会 武蔵野市立第六中学校	きらめく感性 あふれる創造 ～子どもが伸びる授業づくりをめざして～
H8/10/4	第14回 第1ブロック 大田区全造連・関ブ ロ合同大会 大田区民センター	美術と環境一心の軌跡
H10/1/22	第15回 第2ブロック 世田谷大会 世田谷美術館	根幹と広がり ～美術を好きになるには一立体表現を通して～
H11/1/28	第16回 第3ブロック 練馬大会 練馬区立豊玉第二中学校	現在、美術は増殖する ～学校から地域へ生涯へ～
H11/11/19	第17回 第11ブロック 西多摩大会 西多摩郡日之出町立大久野中学校	地域からの発想 ～自然・伝統・生活を見つめて～
H12/11/16	第18回 第4ブロック 板橋大会 板橋区立加賀中学校	美術の時間は発見ワールド ～21世紀の美術は感性を呼び覚ます～
H13/11/22	第19回 第5ブロック 足立大会 足立区立第十四中学校 西新井ギャラクシティ	豊かな感性が21世紀を創る ～人権・共生・環境教育の原点としての美術～
H14/11/21	第20回 第6ブロック 墨田大会 墨田区立墨田中学校	美術、生命の泉 ～湧き出す想像、広がる創造～
H15/11/28	第21回 第7ブロック 八王子市全造連・関 ブロ合同大会 八王子市立長房中学校	創ることは生きること ～人間・さらなる成長をめざして～
H16/11/5	第22回 第1ブロック 品川大会 品川区立富士見台中学校	観る 鑑る 未来る ～転換期における美術教育～
H17/11/18	第23回 第2ブロック 新宿大会 新宿区立落合第二中学校	創造は生徒を変える
H18/11/17	第24回 第3ブロック大会 中野大会 中野区立中野富士見中学校	みんなの美術 ～感動と創造は未来を拓く～
H19/11/08・ 09	第25回 第4ブロック大会 文京区立茗台中学校	つくる喜び みる喜び ～未来を心豊かに生きるために～
H21/01/16	第26回 府中大会 府中市立浅間中学校・府中美術館	人間力をはぐくむ美術教育 ～いま、求められる創造性～ 豊かな「かかわり」を生み出す美術の授業
H21/11/13	第27回 葛飾大会 葛飾区立上平井中学校	「メッセージ」 ～色・形・ことば からの発信～